

# 八尾地域

## まちづくりと公共施設の

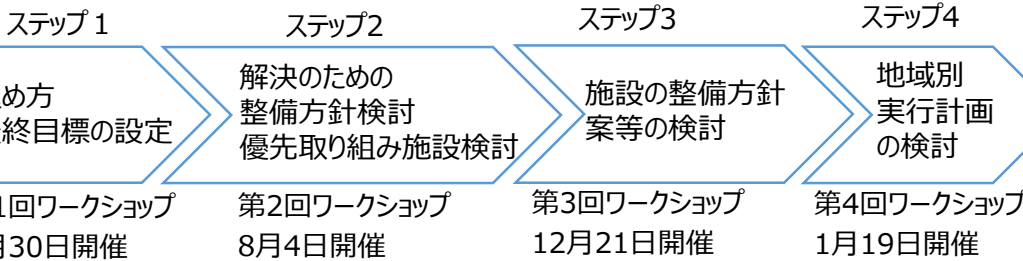
## 「これから」を考えるワークショップ

八尾地域の  
「地域別実行計画」の  
内容についてお知らせします！

地域の皆様からいただいた、まちづくりや公共施設に対するご意見等をもとに、八尾地域における公共施設の将来の再編方針を定める「地域別実行計画」を策定しました。

### これまでの検討の経緯

- 富山市では、地域の皆様からの意見をいただくため、ワークショップ（全4回）やオープンハウスの開催、ニュースレターの全戸配布を行ってきました。



「地域別実行計画」の策定

現段階

#### 地域の皆様からのご意見や関連計画

総合管理計画・  
アクションプラン

公共施設  
老朽化

地域の  
課題・特徴

立地適正化  
計画

まちづくりの  
課題

“将来市民”の  
視点

地域の将来的な公共  
施設の再編方針

地域で優先して取り組  
むべき個別具体  
施設の整備方針

### ワークショップ

地域の36名の方に参加いただき、ワークショップを計4回開催して活発に議論を行いました。



### オープンハウス (パネル展示型説明会)

令和元年11月27日（水）11時～18時半に八尾コミュニティセンター、12月3日（火）9時半～12時半に八尾健康福祉総合センターで公共施設の再編方針案をパネル展示し、ご意見をいただきました。

### ニュースレター

地域にお住まいの皆様へ、情報提供を行い、ワークショップで検討されている内容や、地域のまちづくりや公共施設についてのご意見を募りました。

### 地域別実行計画の内容

「地域別実行計画」とは、地域のまちづくりや公共施設等の課題を踏まえ、地域の皆様からいただいたご意見をもとに作成した、八尾地域の公共施設の将来の再編方針を示すものです。

「地域別実行計画」とは、5～20年を目途とした中長期的取り組み及び5年を目途とした短期的取り組みを定める「地域の将来的な公共施設の再編方針」と、特に課題が大きいため、優先的に取り組みを進め、5年以内の実現を目指す「地域で優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針」を定めるものです。

#### 地域別実行計画

地域の将来的な公共施設の再編方針

地域で優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針

# 地域の将来的な公共施設の再編方針

分類	対象施設	今後の方向性	中長期的取組み (5～20年を目標)	短期的取組み (5年を目標)
(1)集会施設	八尾公民館、保内公民館、杉原公民館、卯花公民館（卯花地区コミュニティセンター）、室牧地区コミュニティセンター、黒瀬谷公民館、野積地区コミュニティセンター、仁歩地区コミュニティセンター、大長谷交流センター、八尾ふらっと館、黒瀬谷交流センター、八尾農村環境改善センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 9地区ごとに公民館または地区コミュニティセンターのいずれかを存続させる。それ以上にある集会施設については、集約化を進める。</li> <li>○ 中山間地域など人口減少が著しい地域における公民館等の改築に際しては、空き家等の借上げ方式を検討する。</li> <li>○ 利用者の利便性向上に向け、地域で運営することにより、地域コミュニティとより密接な連携が図れると考えられる場合は、地元団体への管理運営委託等、運営体制の見直しを行う。</li> <li>○ 存続する施設については、地理特性を考慮し、望ましい形を検討する。</li> <li>○ 地区ごとに避難所が配置されるよう配慮する。</li> </ul>	短期での再編の対象外の施設については当面存続するが、改修などの際には、利用状況や地区の状況などを勘案した設備・規模等の見直しを行う。	八尾ふらっと館については、地域住民が気軽に立ち寄れる環境づくりに努める。また、運営方法についても検討を行う。 卯花公民館（卯花地区コミュニティセンター）、黒瀬谷公民館、黒瀬谷交流センター、八尾農村環境改善センターについては、優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。
(2)文化施設（ホール、その他文化施設）	八尾コミュニティセンター、八尾コミュニティセンター分館・杉風荘	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 稼働率が低下している施設は、廃止や民間への譲渡を進める。</li> <li>○ ホールについては、その将来的な存続や規模のあり方について、地域の中での役割、周辺の類似施設との連携等を進めていく。また複合化・多機能化を検討し、地域活動の拠点として必要となる機能を整備する。</li> </ul>	-	（杉風荘については、優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。）
(3)図書館、博物館等	八尾図書館、八尾東町分館、八尾美術保存館、八尾化石資料館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域図書館・分館については、利用率や地域バランス、学校図書館等との連携を踏まえ、適正配置に向けて廃止や統合を視野に入れた見直しを行う。</li> <li>○ 博物館等については、多くの方に収蔵品等を見てもらえるようにするために、人の集まる場所への移転を視野に入れ、積極的なPRにより利用者増を図っていく。</li> </ul>	今後も存続する施設については、効率的な運営や適切な維持管理を図る。	八尾東町分館については利用者の動向を注視し、利用状況が改善しない場合は、八尾図書館への集約化を進める。 施設の収蔵品等の他施設での展示など、そのあり方を検討する。 （八尾化石資料館、八尾美術保存館については、優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。）
(4)スポーツ施設（体育館、プール、その他スポーツ施設）	八尾スポーツアリーナ、八尾B&G海洋センタープール、スポーツ・カヌーセンター、八尾ゆめの森テニスコート、八尾バインパーク、八尾サンパーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いくつかの地区コミュニティセンター等にも体育館を備えていることを踏まえて、将来にわたって改善が見込まれないことが判断できる施設については、廃止・統合を行う。</li> <li>○ 利用率が低い施設は運営方法の改善を行う。</li> </ul>	機能の重複する施設、稼働率の低い施設については、廃止や集約化などを検討する。	利用者の意見に配慮しつつ、夜間使用の中止など、運営方法の改善を行う。
(5)レクリエーション・観光施設	おわら演舞場、おわら資料館、曳山展示館、ほたるの里農村公園、県立自然公園、神通川水辺プラザ、白木峰山麓交流施設、八尾ゆめの森（ゆうゆう館一帯）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多くの方に利用してもらうために、積極的なPRや他の施設との機能連携により利用者増を図っていく。</li> <li>○ 宿泊・入浴施設については、民間への事業移管を進め、困難なものは廃止する。</li> <li>○ 観光施設については、観光客が利用しやすいように、相互利用の促進、連携強化などにより各観光施設の連携を図る。</li> </ul>	利用率の低い施設については、大規模改修が必要となった場合には、地元や民間への譲渡、または廃止する。	県立自然公園、白木峰山麓交流施設については、白木峰山麓体験農園との一体的な運営など、さらなる利用促進を図るため、民間企業による運営や地元団体への譲渡などを検討する。 各観光施設との連携強化、積極的なPRや他の施設との機能連携により利用者増を図っていく。 （ほたるの里農村公園については、優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。）
(6)産業系施設（産業振興施設）	白木峰山麓体験農園、林業総合センター	○ 産業振興施設については、民間または地元団体が運営を行い、施設の活用促進のため、譲渡などを検討する。	林業総合センターについては、大規模修繕が必要な状態となった場合は廃止する。	白木峰山麓体験農園については、県立自然公園、白木峰山麓交流施設との一体的な運営など、さらなる利用促進を図るため、民間企業による運営や地元団体への譲渡などを検討する。
(7)学校（小学校、中学校）	八尾小学校、杉原小学校、保内小学校、樫尾小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 適正な教育環境の確保という観点から、今後の小中学校の統廃合や存続の可能性について、あらゆる選択肢を検討した上で、地域の意見も踏まえながら継続的に見直しを進める。</li> <li>○ 老朽化が進む施設について、安全性の確保及び機能維持を行う。将来の人口動態を見据え、適正な規模とするために、老朽化が進んだ場合や児童数が著しく減少した場合は、他用途への転用を行ったり、大規模改修の際に減築を行う。</li> </ul>	児童数の推移を見極めながら、今後の小学校のあり方について見直しを行う。	適正な教育環境の確保という観点から、児童数の推移を見極めながら、地域における今後の小学校の統廃合や存続の可能性について、あらゆる選択肢から検討を進める。

# 地域の将来的な公共施設の再編方針

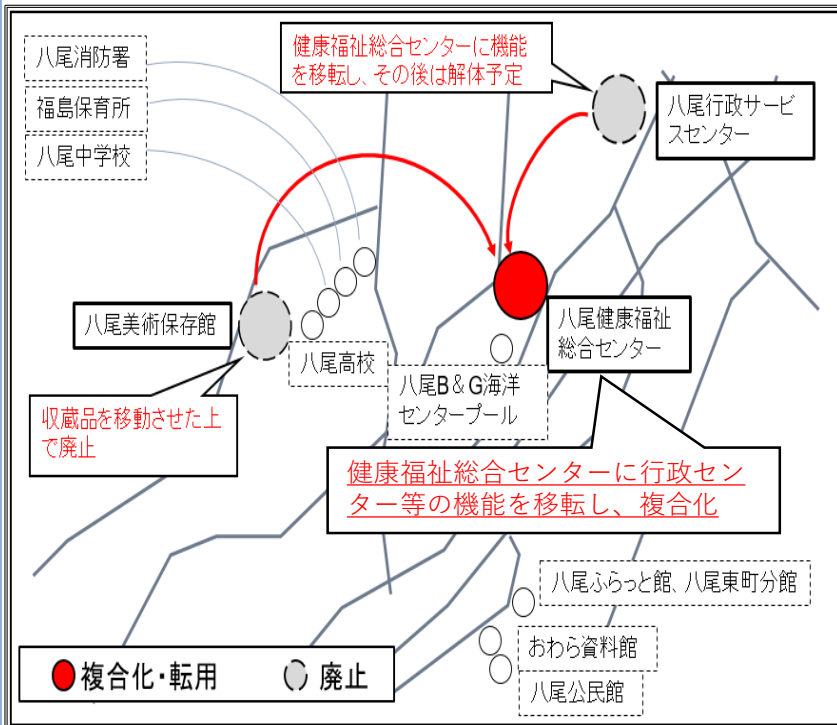
分類	対象施設	今後の方向性	中長期的取組み (5～20年を目標)	短期的取組み (5年を目標)
(8)幼保・こども園（保育所）	八尾保育所、福島保育所、黒瀬谷保育所	○ 子どもの将来的な人数を想定した上で、ニーズに対応した施設を着実に確保すると同時に、園児数が少ない保育所については、統廃合を継続的に検討する。 ○ 老朽化が進む施設について、安全性の確保及び機能維持を図る。	施設の老朽化や園児数の減少が著しい状況となった場合は、統廃合などの見直しを行う。	-
(9)保健施設	八尾健康福祉総合センター	○ 利用者の利便性向上に向け、周辺施設との再編に併せ、複合化や多機能化を実行する。	-	（優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。）
(10)庁舎等、消防施設、その他行政系施設	八尾行政サービスセンター	○ 老朽化が著しいことから、他施設への機能移転を図る。	-	（優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。）

## 地域で優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針

- 地域で優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針として、八尾行政サービスセンターとその他の施設の再編方針を定めました。

### 八尾行政サービスセンターの再編

- 八尾健康福祉総合センターに複数の機能を移転し、行政サービスセンター機能を核とした新たな複合施設としてリノベーションを行う



#### <再編を行うことによる効果>

- 現在の行政サービスセンターと立地が大きく変わらないため、市民の利便性が損なわれない。
- 行政サービスセンターと福祉部門との一体化により、市民サービスのワンストップ化が図られる。
- 現在の行政サービスセンターと同様、災害が想定されない区域に立地している。
- 今後50年間のコストを試算した結果、現状維持した場合は149.5億円かかるのところ、複合化を行う場合は98.7億円となり、財政効果が期待される。

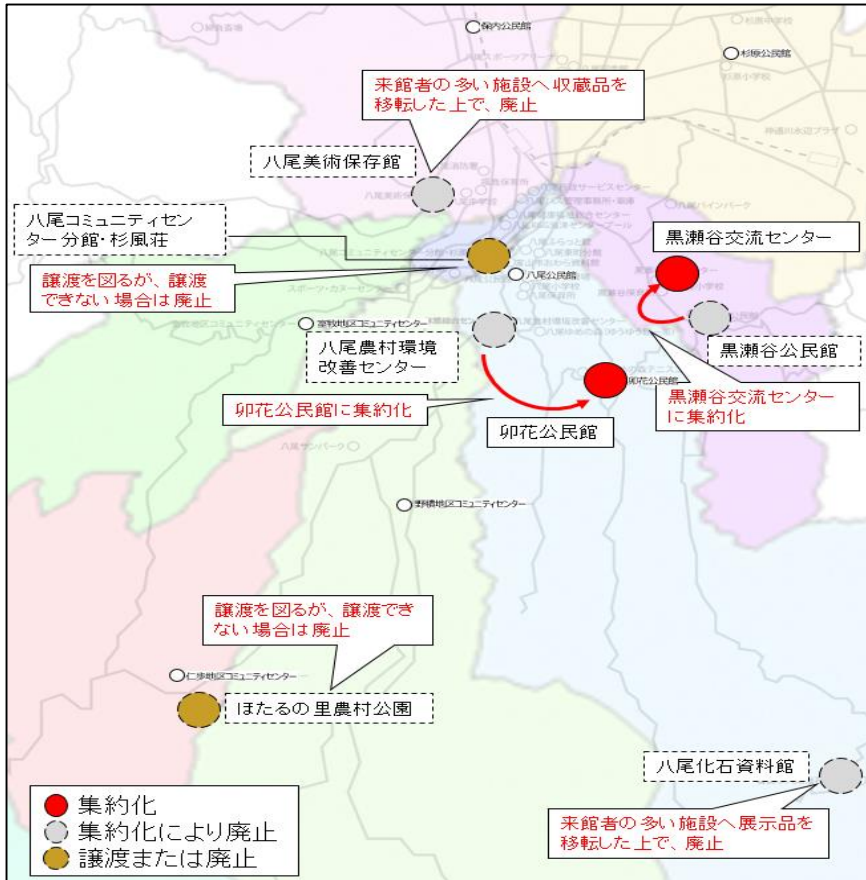
上記複合化は、令和2年度より速やかに具体的検討に着手します。

### 再編にあたっての留意事項

- 可能な限り既存施設を有効に活用しつつ、行政サービスセンターの機能及び美術保存館の収蔵品の移転を行う際には、既存の機能の再編も含めて検討し、リニューアル改修を図る。
- 八尾健康福祉総合センターの立地については、浸水想定区域外とされているが、必要に応じてより安全性を高める整備を行う。

## その他の施設の再編

- ほたるの里農村公園及び八尾コミュニティセンター分館・杉風荘は地域の活性化に資するよう地元または民間への譲渡を図るが、譲渡できない場合は廃止する
- 八尾化石資料館や八尾美術保存館は、資料等をより多くの人に見てもらえるよう、来館者の多い施設（科学博物館等）での展示を図った上で廃止する
- 黒瀬谷公民館を廃止し、黒瀬谷交流センターに集約化する
- 八尾農村環境改善センターを廃止し、卯花地区の集会機能を卯花公民館に集約化する



ほたるの里農村公園、杉風荘、化石資料館、美術保存館については、利用率が著しく悪い状況にあることから、活性化を図るために地元や民間への譲渡、機能の一部移転や廃止を行うこととします。

また黒瀬谷地区、卯花地区では、集会施設が重複している状況となっているため、集約化を図ります。

上記再編は、5年以内の実現を目指して取り組む予定とします。

## 再編にあたっての留意事項

- ほたるの里農村公園について、地元または民間に譲渡する場合には、譲渡後の運営が円滑に行えるよう配慮する。
- 杉風荘は、地域資源としての活用方策を検討した上で方向性を定める。
- 黒瀬谷公民館、八尾農村環境改善センターについては、地元の意見を踏まえながら集約化を進める。

上記のとおり進めていきますので、よろしくお祈りします！

## お問い合わせ先

富山市企画管理部行政経営課  
公共施設マネジメント推進係  
電話：076-443-2021  
ファックス：076-443-2170  
E-mail：gyousei-01@city.toyama.lg.jp

## 公共施設マネジメントに関する情報

「地域別実行計画」に関する情報は富山市HPでご紹介しています。  
HOME > まちづくり・市政 > 各種取り組み > 公共施設マネジメントに関する取り組み > 公共施設マネジメントについて

